



# 2006年度中間決算説明会

## 経理概況説明



常務執行役員 廣瀬 博

2006年11月

## 2006年度中間期の業績

売上高、全段階の利益で中間期としては昨年に引き続き過去最高を記録

【連結】	2005年度中間期 実績	2006年度中間期 実績
売上高	6,884億円	8,546億円
営業利益	566億円	682億円
経常利益	720億円	759億円
純利益	394億円	533億円

中間配当金(1株当たり)

2005年度「4円」 → 2006年度「5円」

## 2006年度年間の業績予想

売上高、全段階の利益で昨年に引き続き過去最高を記録

【連結】

	2005年度 実績	2006年度 予想	前期比(%)
売上高	1兆5,566億円	1兆7,850億円	+14.7%
営業利益	1,208億円	1,450億円	+20.0%
経常利益	1,411億円	1,500億円	+6.3%
純利益	907億円	910億円	+0.3%

2006年度予想前提 為替 115.19円/ドル  
ナフサ価格 50,800円/KI

## 中期計画目標との対比

【連 結】 (単位：億円)

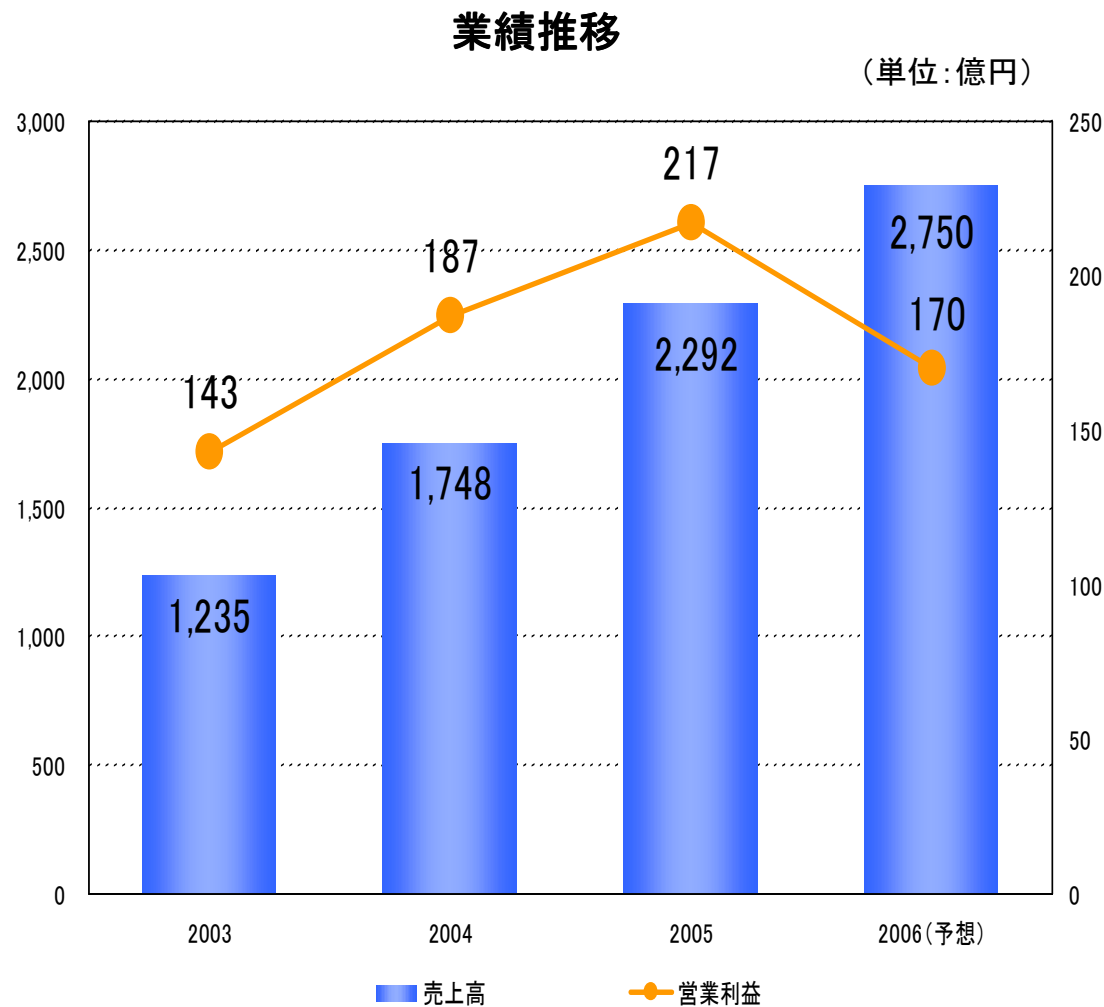
		2004年度	2005年度	2006年度
売上高	中期計画目標	11,800	12,400	13,300
	実績又は予想	12,963	15,566	17,850
営業利益	中期計画目標	750	1,000	1,200
	実績又は予想	1,052	1,208	1,450
純利益	中期計画目標	420	500	650
	実績又は予想	645	907	910

計画業績を昨年1年前倒し達成  
⇒今年度はさらなる上積みをめざす

## 対中期計画 営業利益対比

単位: 億円、%	中期経営計画	2006年予想	差異
基礎化学	110	150	+ 40
石油化学	190	170	▲ 20
精密化学	90	140	+ 50
情報電子化学	230	170	▲ 60
農業化学	230	240	+ 10
医薬品	310	510	+ 200
その他/消去	40	70	+ 30
<b>全社合計</b>	<b>1,200</b>	<b>1,450</b>	<b>+ 250</b>

# 情報電子部門業績推移と今後の収益改善策



## 今後の収益改善策

生産性の向上

収率の向上

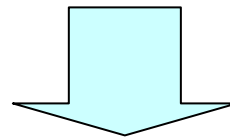
安価原料調達

## ラービグ計画の進捗状況

2005年9月 合併会社 (ラービグ リファインング アンド ペトケミカル カンパニー) 設立

2006年3月 プロジェクト・ファイナンスに関する契約の調印

主要なEPC契約の締結



2006年3月19日

現地にて起工式を実施

(現在の状況)

杭打ちがほぼ完了し基礎工事は着実に進行中

パイプラックの敷設や一部機器の搬入も開始

日本からの赴任者もラービグ入り

2008年後半の運転開始に向け

全社的プロジェクトとして全力をあげ計画を推進

### 注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。